



北海道・標茶町で 自分スタイルの酪農Life!

道東に位置する標茶町。車を走らせるとたくさんの牧場の看板を目にすることができるまちです。

冷涼な気候は、美味しい牛乳を生産するには最適。

このまちで、自分らしい酪農生活を始めてみませんか。



北海道標茶町



標茶町で酪農を始めませんか？

標茶町で酪農にチャレンジしたいと思ったら、まずは「標茶町担い手育成協議会」へご相談ください。標茶町では、ふたつの支援体制を用意し、様々な研修を通して技術や知識を得ながら本格的な就農に備えることができます。

ご夫婦で 新規就農したい人の場合

※原則、40歳以下の方で、配偶者を有する方が対象です。

- 1 農業体験研修(3カ月～6カ月)
※農業に適しているかを見極める期間になります
- 2 新規就農研修(原則2年間行います)
- 3 酪農実践研修
※町内の登録農家において、酪農全般(搾乳、哺育、機械作業、飼料収穫、繁殖等)の実践研修を行います
- 4 酪農座学研修
※平成27年4月より開設された「しべちゃ農楽校」において、飼養管理、乳質管理、経営管理などの学習を月2回程度行います
- 5 北海道立農業大学校等での研修派遣
- 6 標茶町農学ゼミナールによる研修・道内視察研修

独立就農

離農跡地での独立就農
経営継承による独立就農

手当 月額30万円以上支給(夫婦での研修の場合)

住居 「しべちゃ農楽校」にて居住

お一人でも 農業体験したい人の場合

- 1 農業体験研修(短期体験研修)
※農業に適しているかを見極める期間になります
- 2 農業研修(長期研修～最長2年間研修)
- 3 酪農実践研修
※町内の登録農家において、酪農全般(搾乳、哺育、機械作業、飼料収穫、繁殖等)の実践研修を行います
- 4 酪農座学研修
※平成27年4月より開設された「しべちゃ農楽校」において、飼養管理、乳質管理、経営管理などの学習を月2回程度行います
- 5 北海道立農業大学校等での研修派遣
- 6 標茶町農学ゼミナールによる研修・道内視察研修

法人などへの就農

最長2年間の研修後、
町内の法人などへの就農が可能です。

手当 月額1人15万円以上支給

住居 「しべちゃ農楽校」にて居住



就農後のサポート体制も充実した、標茶町の本気。

標茶町では、研修を経て就農した後も、酪農技術や牧場経営の安定、資材や人材の調達など、さまざまなシーンでサポート体制を設け、新規就農者を継続的に支援しています。詳しくは、お問い合わせください。

支援制度の一例 短期研修支援(4泊5日以上) 食事代・宿泊料無料。最大5万円の交通費を助成します。

新規就農者宿泊研修施設 「しべちゃ農楽校」概要



研修内容の一例

体験研修から実践研修、「標茶町農学セミナー」
「酪農座学研修」といった標茶町独自の研修プログラムと合わせてご利用いただけます。

- 搾乳方法と搾乳衛生について
 - 加工実習
 - 酪農経営について
 - 草地管理について
- など毎月1テーマで実施(最大2年間)

標茶町で新規就農を目指す人のために、平成27年より新規就農者宿泊研修施設「しべちゃ農楽校(のうがっこう)」が開設されました。廃校となった小学校の建物を活用し、講義やミーティング会場となるホールのほか、単身・ご夫婦での滞在に適した居室も用意しています。じっくりと腰を据えて酪農を始めようとする人には、最適な環境となっています。

女性専用長期研修用居室(3室)



1LDK・風呂・トイレ付(ユニットバスではありません)
【備品等】冷蔵庫、全自動洗濯機、テレビ、調理器具、ストーブ、IHクッキングキッチン、シングルベッド、インターネット回線(ADSL)



短期研修用居室(1室)



キッチン、シャワー、トイレ別
【備品等】テレビ、ストーブ、寝具付シングルベッド、インターネット回線(ADSL)

短期用居室(1室)

キッチン、シャワー、トイレ別
【備品等】テレビ、ストーブ、寝具付2段ベッド、インターネット回線(ADSL)

ミーティングルーム



座学の研修会場となるほか、研修生と地元酪農家とのコミュニケーションの場、休憩スペース等としても利用されています。

しべちゃ農楽校

〒088-2332 北海道川上郡標茶町字オソツベツ982番地2

TEL 015-488-5811 FAX 015-488-5822

- 滞在は1日3食750円で利用可
- ペット同伴不可

標茶町農業協同組合

● 酪農家の支援全般

標茶町担い手育成協議会

● 就農後の全般的サポート

標茶町

● 酪農振興対策全般

釧路農業改良普及センター

● 就農後の技術指導・助言

新規就農者

標茶町酪農関係技術者連絡協議会

● 技術的支援

北海道ひがし農業共済組合

● 家畜の予防診療

指導農業士・農業士会

● 就農後の指導・助言

標茶町営農サポートセンター

● 酪農ヘルパー ● 農作業受託(コントラクター)

研修生に聞く、 酪農家への夢



齋藤 安妃子さん

22才・神奈川県出身
2017年4月より研修開始



堂 奈緒美さん

23才・千葉県出身
2018年3月より研修開始

酪農家を目指すきっかけは「新・農業人フェア」だったという二人。
現在の生活とこれからの夢についてお聞きました。

Q. 酪農家を目指そうと思ったきっかけは？

齋藤さん 「子どもの頃から動物が好きということもあり、北海道の大自然の中で酪農の勉強がしたいと思っていました」

堂さん 「農業に興味があって、新・農業人フェアで標茶町の方から話を聞いているうちに、こちらでお世話になろうと思いました」

Q. 研修についてはいかがですか？

齋藤さん 「いま牛舎でリーダーを任せられていて、責任重大だなと。牛は生き物なので、毎日状態が違い難しい面も多いですけど、研修生活は充実しています。本当に標茶に来て楽しいと感じていますよ」

堂さん 「搾乳ひとつとっても、自分の思うようにならなくて、毎日が試行錯誤の連続です。やりがいのある仕事だと感じているので、未熟な自分をもう少し叱ってほしいと思いますね(笑)。でも牛の出産シーンに立ち会ったときの感動は忘れられません」

Q. 農楽校に来て、生活に変化はありましたか？

齋藤さん 「生活のリズムが正くなりました。でも、やはり朝が早いので、そこだけは慣れません(笑)」

堂さん 「標茶に来るまでは運転をしたことがなかったのですが、ここでの生活では車は欠かせません。もう少し上手になりたいですね」

Q. 研修を通じて、どのような自分になりたいですか？

齋藤さん 「牛のことをきちんと観察でき、適切な対応ができるようになりたいと思っています」

堂さん 「研修期間の2年間で、酪農に関わる一通りの仕事ができる自分を目指しています」

Q. 「しべちゃ農楽校」へ関心をもっている人へメッセージをください。

齋藤さん 「ココでは、自分がやりたいと思ったことを実現させてくれる雰囲気がありますので、気軽に相談してみてください」

堂さん 「興味をもったら4泊5日の短期研修コースもあるので、一度いらしてください」

二人とも農楽校での暮らしは快適と口を揃えてくれました。

一日の生活リズム

- 🕒 4:00 起床
- 🕒 4:30 牛舎にて搾乳の準備開始
- 🕒 5:00 搾乳開始
- 🕒 7:00 牛舎の掃除・片付け終了
- 🕒 8:00 朝食
- 🕒 10:30 牛舎を巡回し、牛の状態を確認
※齋藤さん・・・獣医対応・牛の移動
※堂さん・・・人工授精の対応

終了後、昼休憩

- 🕒 14:30 搾乳準備
- 🕒 15:00 搾乳開始
- 🕒 17:00 牛舎の掃除・片付け終了
- 🕒 18:00 夕食
- 🕒 21:00 就寝

※必要に応じて、夜回りを実施。分娩など牛の状態を確認
※休日は週に1～2日



夫婦研修

ただ今、夫婦で研修中 家族で営むなら、標茶の酪農が最適です！

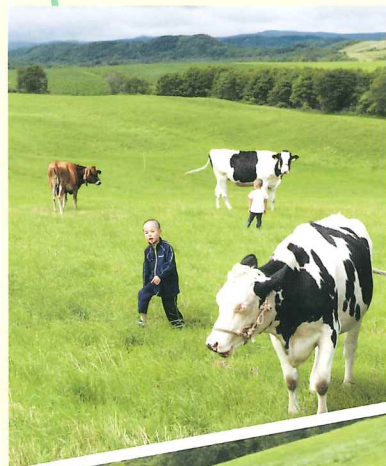
2018年4月から研修制度を利用して標茶町へ移り住んできた井澤さんご一家。農楽校には家族で住める住宅もあり、迷わず決めたそう。「前職はまったく酪農に縁のない異業種でしたが、何かを始めたいと一念発起しました。生き物が好きという理由だけで、1日だけの短期研修に参加し、酪農の魅力に惹かれたんです。不安は金銭面のことだけでしたが、JAや農楽校の方に相談に乗ってもらい、覚悟を決めました。仕事に対する不安はありませんでしたね」と尚知さんは言います。「好きじゃないと出来ない仕事だと思うんですよ。酪農の仕事は、好きなコトをしている時間なんですね。牛の性格も徐々にわかってきたので、楽しいですよ」と沙也香さん。いつも二人で、「家族で営むには一番向いているね」と話しているそうです。3人の子どもたちの中でも、いま小学4年生の長男が、よく作業を手伝ってくれるのも嬉しい様子。休みの日も酪農の話で夢を膨らませている二人の目は、真っ直ぐ前を向いていました。迷っている人へひと言。「不安はあると思いますが、充実した支援制度と周囲の人たちのサポートがあるので、実際に飛び込んできたら案外出来るよ!」とのメッセージを届けてくれました。



井澤 尚知さん(北海道釧路市出身)
沙也香さん(北海道石狩市出身)
子供3人(中1・小4・小1)

新規就農

目指すべく牧場の経営スタイルへ いま新規就農のスタート地点に立つ



千葉友行さん(神奈川県出身)
美果さん(埼玉県出身)
恒成くん(小1)
理仁くん(4才)
直樹くん(1才)

1年間の酪農体験研修を終え、2018年3月より独立。学生時代からの憧れである「牛飼い」としてのスタートを切った千葉さん。「2003年から標茶町にはお世話になっていました。ここで酪農従業員や人工授精師、獣医師として酪農・畜産には関わっていました。そして、自分の農場を持ちたいという気持ちはいつも持っていたんです。慣れ親しんだ標茶で就農出来るかもしれないという話が出て、すぐに自分の思いを家族に伝えました。技術的な面や資金面などクリアしなければならない課題はたくさんありましたが背中を押してくれて、嬉しかったですね」。慣れ親しんだ標茶町には友人や知人も多く、先輩酪農家や関係機関の職員の方にも知り合いがいました。そんな安心感が標茶の地を選んだ決め手だと言います。

「いよいよ始まったなという思いでワクワクしています。ただ、つい夢中になりすぎてしまって、家族との時間をもっと大切にしなければと反省しています。子どもたちが世話をしていた仔牛が成長して、いま妊娠しているんです。子どもたちは、そのことを理解していて出産を楽しみにしています。子どもの成長する姿が、これからの自分らしい牛飼いへの道しるべなのかな」と、静かに語ってくれました。



標茶・新規就農のよくある質問

Q1 酪農・農業の経験は一切ありませんが大丈夫でしょうか？

A 大丈夫です。たくさんの方の未経験者が研修に来られ、その一部は標茶で実際に就農されました。本格的な研修に入る前に、適性があるかどうか、ご本人がやる気を持ち続けられるかを見極める期間も設けていますので、まずはいちど体験してみてください。

Q2 誰も知り合いのいないまちで暮らすことが不安なのですが…。

A 研修中、地元農家さんへのご紹介や、仲間づくりのためのゼミナールなど、様々なサポートを用意しています。町外からの移住者も増えていますので、思いを分かち合える仲間を標茶で見つけてください。

Q3 就農後、休暇取得や農場経営がうまくいくか心配です。

A 確かに生き物相手の酪農は、ラクな仕事ではありません。けれど、その分やりがいや達成感もあります。最近では酪農ヘルパーの活用で定期的に休暇をとる酪農家も増えていますし、就農後の経営相談や支援策も整備されています。酪農経営には「決まったスタイル」はありません。あなたの求める暮らしと仕事のバランスを実現する、「あなたスタイル」の酪農経営をめざしませんか？

標茶町って…

標茶町は、釧路湿原国立公園の上流部に位置し、総面積は1,099.37km²で東京都の約半分の広さに当たる大きなまちです。気候は、春季から夏季にかけては涼多湿で日照時間が少なく、秋季は晴天の日が多く続きます。冬季は、積雪は比較的少ないですが、その分寒さが厳しく、冬季の平均気温はマイナス10℃程度になります。道東エリア観光の中心にあることで、知床や納沙布岬などの観光地も日帰り圏内にあります。



Access

- ◆ たんちょう釧路空港から車で…………… 約90分
- ◆ 根室中標津空港から車で…………… 約80分
- ◆ 女満別空港から車で…………… 約100分

標茶町のデータ

人口	7,655人(平成30年9月末時点)
農家戸数	323戸(平成30年8月時点)
耕地面積	約26,000ha
飼育頭数	乳牛 約37,000頭 肉牛 約14,000頭
教育施設	小学校4校 中学校2校 小中学校2校 高等学校1校
保育施設	保育所 市街 2カ所(うち常設2カ所) 郊外 5カ所(うち常設3カ所) 幼稚園 市街 1カ所(うち常設1カ所)
医療機関	町立病院

お問い合わせ

標茶町担い手育成協議会事務局
(しべちや農楽校内)

〒088-2332 北海道川上郡標茶町字オソツベツ982番地2
TEL 015-488-5811 FAX 015-488-5822 E-mail ninaite@sip.or.jp
http://www.town.shibecha.hokkaido.jp/~ninteif/

